

# S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

《月報》  
平成 21年 7月  
(第27 ~ 31週)

発行年月日 :平成21年(2009年) 8月21日  
発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター  
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

## 1) 全数報告の感染症(一類~五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一~四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一~四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 21年		平成 20年 <sup>*1</sup>		感染症 類型	疾 病 名	平成 21年		平成 20年 <sup>*1</sup>		
		1~6月	7月	1~12月	1~12月			1~6月	7月	1~12月	1~12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	26	0	18	0
	痘そう	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0
二類	ラッサ熱	0	0	0	0		ブルセラ症	0	1	0	0	4
	急性灰白髄炎	0	0	0	0		ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0
	結核	131	12,734	37	2,653		ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0		発しんチフス	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0		ボツリヌス症	0	0	0	0	2
	鳥インフルエンザ(H5N1) <sup>(**)</sup>	0	0	0	0		マラリア	0	25	0	11	1
三類	コレラ	0	4	0	2		野兔病	0	0	0	0	5
	細菌性赤痢	0	86	0	13		ライム病	0	0	0	2	0
	腸管出血性大腸菌感染症	3	859	4	735		リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	16	0	3		リフトバレー熱	0	0	0	0	0
四類	パラチフス	0	9	0	4	類鼻疽	0	0	0	0	0	
	E型肝炎	1	22	0	5	レジオネラ症	3	303	1	95	10	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	2	0	4	0	
	A型肝炎	0	69	0	12	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	
	エキノкокクス症	0	11	0	4	アムール赤痢	7	403	1	74	10	
	黄熱	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	102	0	25	5	
	オウム病	0	10	0	4	急性脳炎	0	107	1	28	1	
	オムスク出血熱	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	2	0	10	0	
	回帰熱	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	62	1	10	2	
	キャサナル森林病	0	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球 菌感染症	2	71	0	6	1	
	Q熱	0	2	0	0	後天性免疫不全症候群	3	718	2	162	11	
	狂犬病	0	0	0	0	ジアルジア症	0	41	0	8	1	
	コクシジオイデス症	0	2	0	0	髄膜炎菌性髄膜炎	0	9	0	0	0	
	サル痘	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	梅毒	0	362	0	68	5	
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	破傷風	2	51	0	10	5	
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0		
炭疽	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	45	0	10	0		
つつが虫病	0	99	0	6	風しん	2	98	0	15	2		
デング熱	0	31	0	5	麻しん	1	439	1	89	39		
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	新型インフルエンザ等感染症	-	-	25	1,033	-		
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(**)</sup>	-	-	25	1,033	-		

(\*) :平成20年5月12日から集計、(\*\*) :平成21年7月24日から集計、- :未集計

## 滋賀県における全数報告感染症の概要 (7月)

### <結核>

性別: 男性 23名、女性 14名  
 類型: 患者 32名  
       疑似症 1名  
       無症状病原体保有者 4名  
 病型: 肺結核 23名  
       その他の結核 14名

### <腸管出血性大腸菌感染症>

性別: 男性 4名  
 年齢: 9歳、28歳、61歳、62歳  
 血清型・毒素型:  
       O157・VT1&VT2 4名

### <レジオネラ症> 男性 55歳

推定感染経路は水系感染で、推定感染地域は日本国内です。

### <アムール赤痢> 男性 45歳

推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

### <急性脳炎> 男性 59歳

推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

### <クロイツフェルト・ヤコブ病> 男性 77歳

推定感染経路、推定感染地域ともに不明です。

### <後天性免疫不全症候群>

男性 36歳、56歳  
 推定感染経路は異性間性的接触および不明で、推定感染地域は日本国内および中華人民共和国です。また、病名は2名ともAIDSです。

### <麻しん> 女性 22歳

推定感染経路は不明で、推定感染地域はインドネシアです。ワクチン接種歴は、1回目のみ接種です。

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

### 7月の概要

#### <インフルエンザ>

例年第27～31週(6/29～8/2)のインフルエンザ患者の報告は無く、定点当たり患者数は0人ですが、今年の同時期の定点当たり患者数は0.08～0.96で推移していました。保健所管内別では、大津市、草津および甲賀でやや多くなっており、**新型インフルエンザの感染者増加の影響と推測**されます。

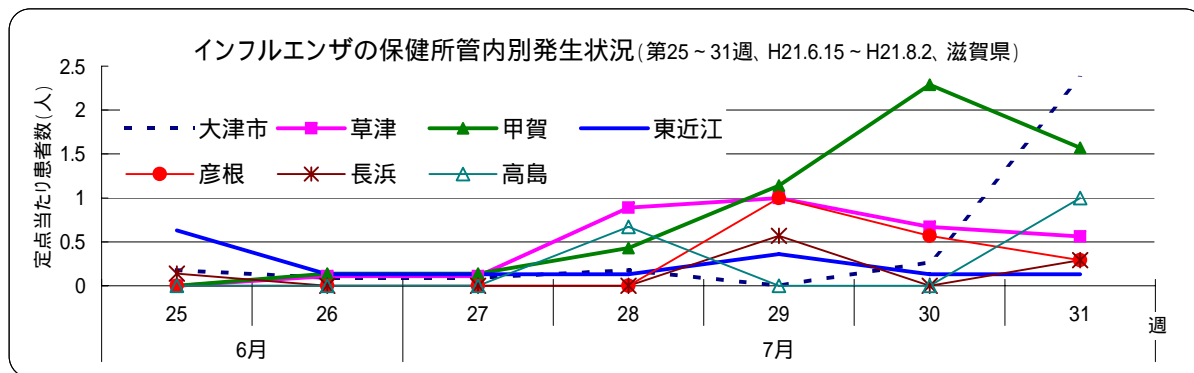
#### <小児科定点疾患>

先月より急増した疾患は手足口病およびヘルパンギーナで、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等です(他の疾患の発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。ヘルパンギーナについては、高島で第27～31週の間、連続して警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えていました。また、手足口病については、甲賀で第29～31週(7/13～8/2)の間警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えていました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月とほぼ横ばいで、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である無菌性髄膜炎は彦根および長浜から、クラミジア肺炎は東近江からの報告がありました。マイコプラズマ肺炎は先月より減少していましたが、甲賀からの報告がやや多くなっていました。また、細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

### インフルエンザの保健所管内別発生状況(平成21年第25～31週、滋賀県)



インフルエンザの保健所管内別発生状況はグラフのとおりです。また、**新型インフルエンザの確定患者の届出数は大津市、草津、甲賀および東近江保健所管内で多くなっています。**

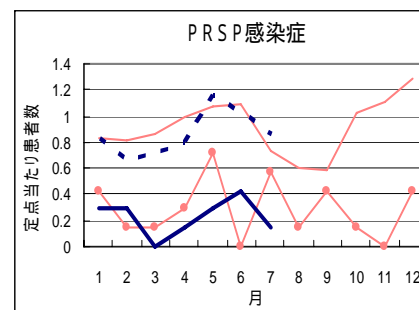
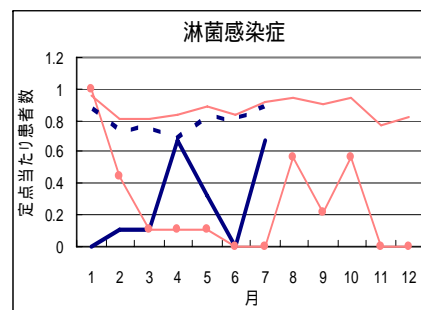
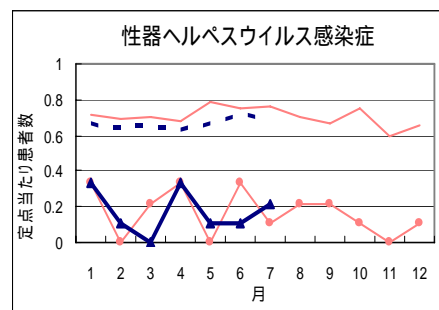
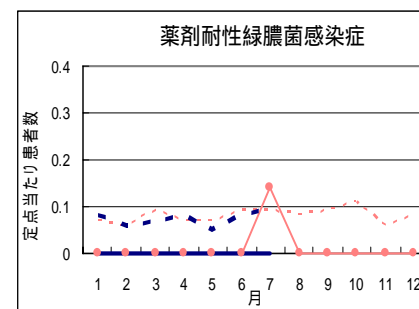
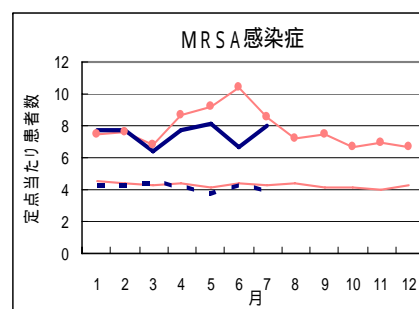
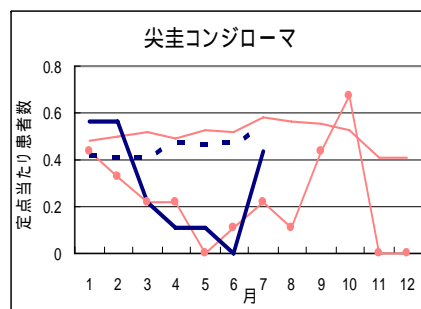
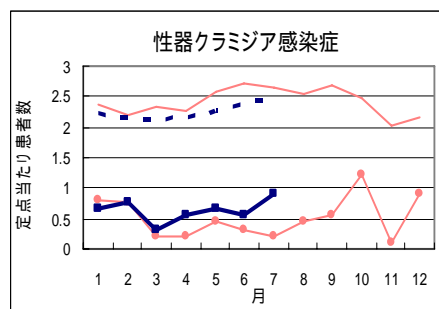
### <各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 21年 7月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7	3	5	6	5	8						40
	定点当たり	0.67	0.78	0.33	0.56	0.67	0.56	0.89						4.46
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0	3	1	1	2						11
	定点当たり	0.33	0.11	0	0.33	0.11	0.11	0.22						1.21
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5	2	1	1	0	4						18
	定点当たり	0.56	0.56	0.22	0.11	0.11	0	0.44						2.00
淋菌感染症	罹患数	0	1	1	6	3	0	6						17
	定点当たり	0	0.11	0.11	0.67	0.33	0	0.67						1.89
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54	45	54	57	47	56						367
	定点当たり	7.71	7.71	6.43	7.71	8.14	6.71	8.00						52.41
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2	0	1	2	3	1						11
	定点当たり	0.29	0.29	0	0.14	0.29	0.43	0.14						1.58
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0						0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0						0



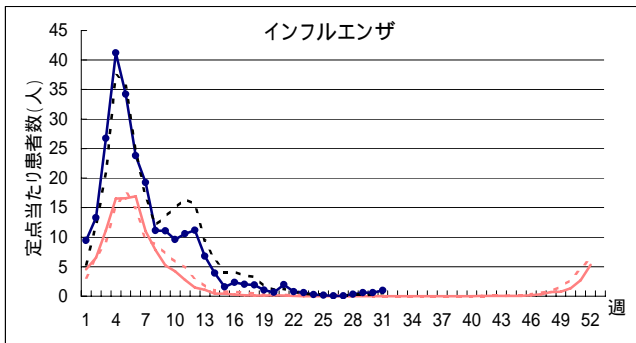
H20 { 滋賀 (red solid line)  
       全国 (red dashed line)  
 H21 { 滋賀 (blue solid line)  
       全国 (blue dashed line)

MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
 PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌

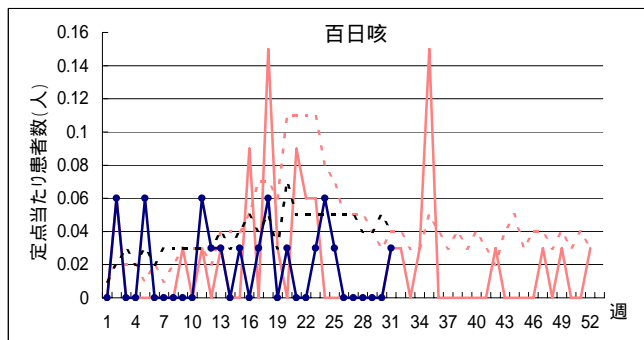
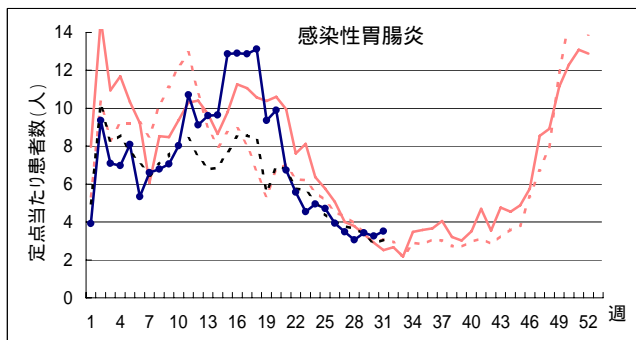
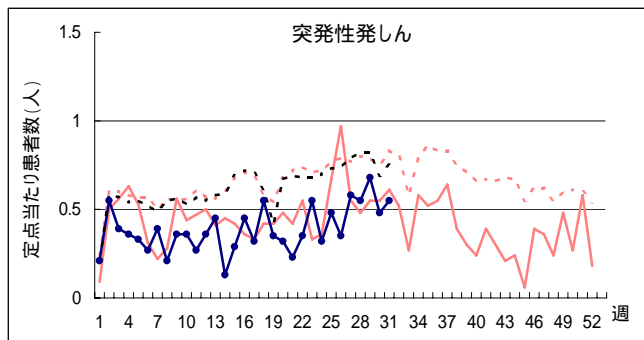
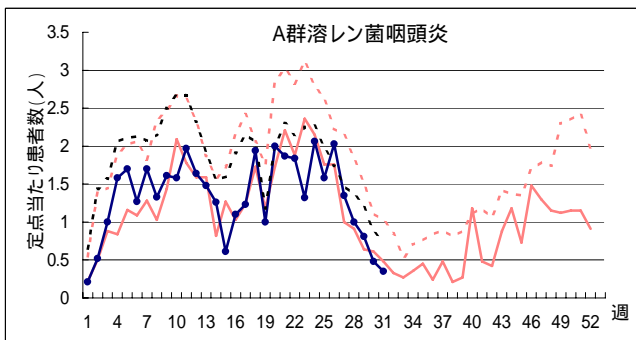
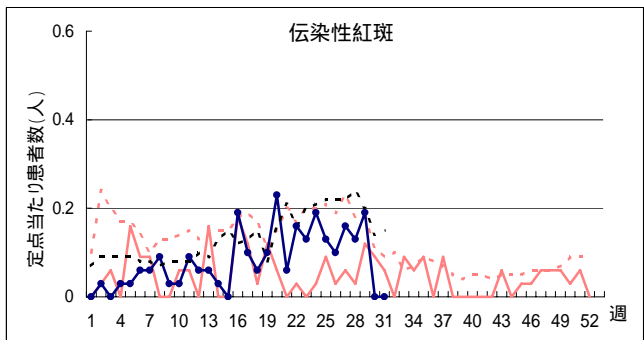
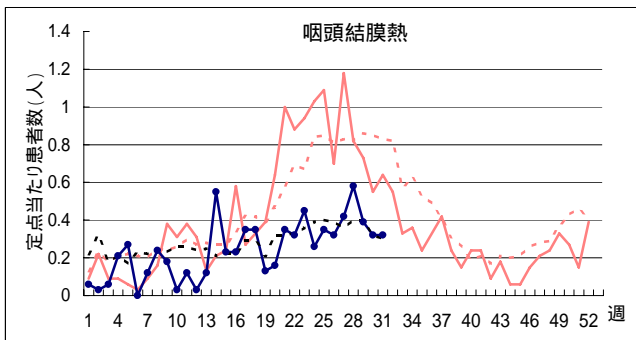
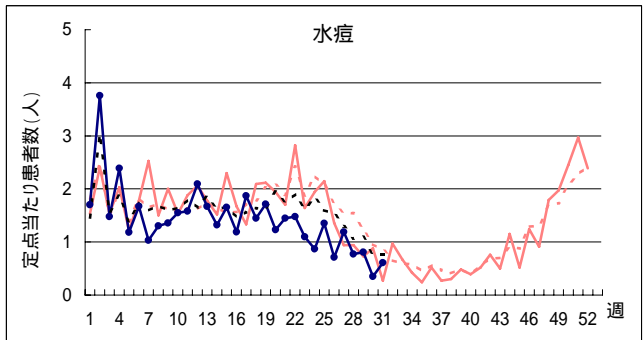
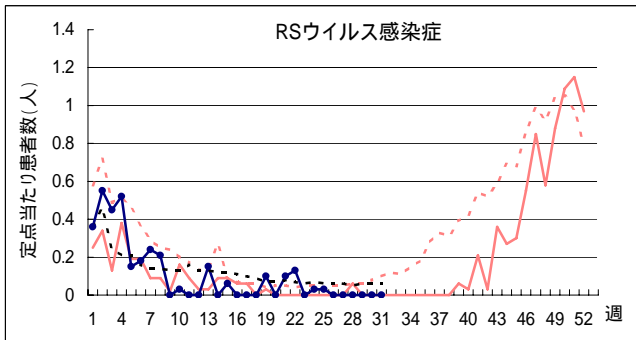
性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較するとPRSP感染症は減少していますが、他の疾患については増加しています。特に、尖圭コンジローマおよび淋菌感染症では先週よりかなり多くなっています。また、性器クラミジア感染症では4月以降、緩やかな増加傾向を示しています。薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。



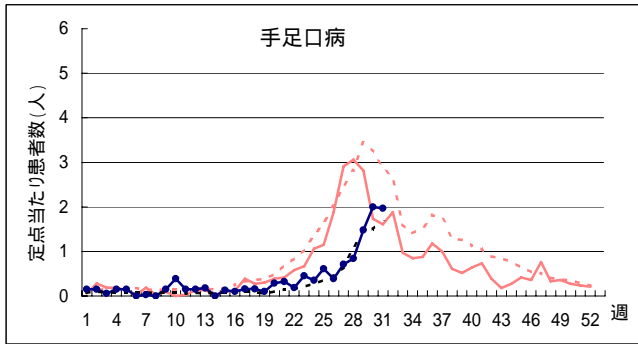
# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第31週、H19.12.29~H21.8.2)



H20 { 滋賀 ————  
       全国 .....  
 H21 { 滋賀 —●—  
       全国 .....  
           週



# 疾病別定点当たり患者数(平成21年第31週、H19.12.29~H21.8.2)



H20  
 { 滋賀 (solid red line)  
   全国 (dotted red line)  
 H21  
 { 滋賀 (solid blue line)  
   全国 (dotted blue line)

